

<b>授業科目名</b> <英訳>		ベンチトレーニングコース On the Bench Training Course			<b>担当者所属・ 職名・氏名</b>		医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 教授 小泉 昭夫				
<b>配当 学年</b>	専門職	<b>単位数</b>	2	<b>開講年度・ 開講期</b>	2015・ 後期	<b>曜時限</b>	金3,4	<b>授業 形態</b>	講義	<b>使用 言語</b>	日本語及び英語
<b>[授業の概要・目的]</b>											
I. コースの概要 行政機関・化学工業における中毒学専門職として必要なGLPの実践を行ないます。Gas Chromatography / Mass Spectrometry を使用した環境汚染物質研究のprotocol writing, presentation, protocol meeting, sample collecting, sample measurement, audit, paper writing, review を実習します。											
<b>[到達目標]</b>											
II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること）											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Gas Chromatography / Mass Spectrometry を使用することができる</li> <li>・ 文献等を調べて研究テーマの背景を説明できる</li> <li>・ GLPに基づいてプロトコルを書くことができる</li> <li>・ 明らかにすべき事柄に対する研究手段を選択することができる</li> <li>・ GLPに基づいてプロトコルをpresentationすることができる</li> <li>・ GLPに基づいて実験結果をまとめることができる</li> <li>・ GLPに基づいて研究結果をpresentationすることができる</li> <li>・ 研究成果を論文にまとめることができる</li> </ul>											
<b>[授業計画と内容]</b>											
第1回 10月2日 Orientation 第2回 10月9日 Gas Chromatography 24-1, 24-2, 24-3 第3回 10月16日 Gas Chromatography 24-4, 24-5 第4回 10月23日 Mass Spectrometry 22-1, 22-2 第5回 10月30日 Mass Spectrometry 22-3, 22-4 第6回 11月6日 Discussion of theme 第7回 11月13日 Presentation of background 第8回 11月20日 Protocol Writing 第9回 12月4日 Protocol Presentation 第10回 12月11日 Sample collecting 第11回 12月18日 Sample measurement (1) 第12回 12月25日 Sample measurement (2) 第13回 1月8日 Summarize the data 第14回 1月15日 Presentation the data 第15回 1月22日 Writing Paper											
----- ベンチトレーニングコース(2)へ続く ↓ ↓ ↓											

<b>ベンチトレーニングコース(2)</b>
<b>[履修要件]</b>
MPH選択 環境衛生学、中毒学入門が履修済みで、中毒学を受講していること
<b>[成績評価の方法・観点及び達成度]</b>
Attendance and active participation 50%, Presentation50%
<b>[教科書]</b>
Handouts 1.Code of Federal Regulations ICH Guideline 2.Quantitative Chemical Analysis 6th edition Daniel C. Harris, W. H. Freeman and Company, 2003
<b>[参考書等]</b>
(参考書)
<b>[授業外学習（予習・復習）等]</b>
III. 教育・学習方法 ・講義 ・小グループ学習
<b>(その他（オフィスアワー等）)</b>
その他メッセージ Credits of “Introduction to Toxicology” and “Environmental Health” simultaneous registration of “Toxicology” are required.  人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限3人まで可能  ※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。